

研究業績等に関する事項

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書(欧文)) 1. なし				
(著書(和文)) 1. 『JWDA初級ウェブ解析士認定試験公式テキスト(第3版)』	共著	2012年4月	日本Webデザイナーズ協会 (現:ウェブ解析士協会)	<p>【概要】 本書は、ウェブ解析(アクセスログ解析)に関する検定試験公式テキストとなり、デジタルマーケティングの取り巻く環境について取り上げ日本の広告市場規模や広告出稿量など市場トレンドや企業実務で必要とされるメディアプランニング(メディア設計)の具体的な手法に加えて、広告の効果、デジタルメディアの種類について執筆を行った。</p> <p>【著者名】 編 著: 日本Webデザイナーズ協会 監 修: 守口剛(早稲田大学商学大学院教授) 共著者: 有坂祐樹、齋藤幸彦、矢内寛子、原田光久、奥野辰広、関原雅人、寺岡幸二、松本和仁、森野誠之、山口詩保子、吉田健、浅野弘輔、男澤洋二、見浦美幸</p> <p>【執筆ページ】 pp. 126-129. pp. 180-183.</p>
2. 『WACA初級ウェブ解析士認定試験公式テキスト(第4版)』	共著	2013年3月	ウェブ解析士協会	<p>【概要】 本書は、前年に出版した第3版の改定版の公式テキストとして出版され昨年度から継続して広告分野の執筆を担当した。第3版の執筆内容の加筆修正に加えて、新たに最新のアドテクノロジーについて従来の広告の範囲に留まらずデジタルマーケティングの実務に関する内容に合わせて新たに執筆を行った。</p> <p>【著者名】 編 著: ウェブ解析士協会 監 修: 守口剛(早稲田大学商学大学院教授) 共著者: 江尻俊章、伊藤悠子、奥野辰広、片岡裕貴、後藤高志、駒井かほ里、佐藤葉之、佐野真規、瀬在浩貴、瀧口亜美、竹山永治、田中友尋、原田光久、藤井裕也、古市大三、松原英之、宮崎洋史、山口詩保子、横山大</p> <p>【執筆ページ】 p127, pp134-136, pp171-182.</p>

<p>3. 『WACA初級ウェブ解析士認定試験公式テキスト(第5版)』</p>	<p>共著</p>	<p>2014年3月</p>	<p>ウェブ解析士協会</p>	<p>【概要】 本書は、前年に出版した第4版の改定版の公式テキストとして出版され昨年度から継続して広告分野の執筆を担当した。広告ビジネスの概要(広告費、広告の実施状況)、広告効果指標、メディア設計に加えてアドテクノロジーの活用とウェブ解析の環境では、広告配信手法、データマネジメントプラットフォームについて取り上げ、データに基づいたマーケティング重要性とメディアの立ち位置や活用方法について執筆を行った。</p> <p>【著者名】 編 著：ウェブ解析士協会 監 修：守口剛(早稲田大学商学大学院教授) 共著者：江尻俊章、宮崎洋史、岡本裕智、<u>奥野辰広</u>、中山陽平、小杉聖、板東直樹、平岡謙一、山口詩保子</p> <p>【執筆ページ】 p65, pp148-149, pp183-195.</p>
<p>4. 『サイトの改善と目標達成のためのWeb分析の教科書』</p>	<p>監修・共著</p>	<p>2015年6月</p>	<p>マイナビ</p>	<p>【概要】 本書は、Web制作や広告代理店の現場担当者に求められる基本スキルを体系的に解説した実務未経験者、実務担当者向けの入門書となる。出版にあたり、本書の監修を担当した。また、Chapter1、3、5、6を共著者として、Web改善の始め方、分析ツールの導入、Web解析、広告効果測定について執筆を行った。なお、日本Web協会が主催する「Webアナリスト検定」の参考図書ならびに一部大学において講義や演習の教科書として採択された。</p> <p>【著者名】 編 著：日本Web協会 監 修：<u>奥野辰広</u>、中川雅史、小寺沢裕子、石田知志 共著者：<u>奥野辰広</u>、中川雅史、小寺沢裕子、石田知志、阿形達志、福永充利、森英博、立石みき</p> <p>【執筆ページ】 p10, p15, pp42-50, pp67-123, pp129-190.</p>

<p>5. 『図解でわかる ネット広告運用 の基本』</p>	<p>単著</p>	<p>2015年12月</p>	<p>インプレス Impress Digital Book</p>	<p>【概要】 本書は、インターネット広告の実務未経験者、Web制作会社のディレクター、広告代理店のプランナー、事業会社の集客担当者やマーケティング担当者として新任者や新入社員が業務を進めるうえで実際に必要な基本スキルを「デジタルメディアでの集客方法」「データ分析・効果測定」「データ分析後の検証改善」の3つのステップに沿って解説した入門書である。</p> <p>【著者名】 著者：奥野辰広</p> <p>【総ページ数】 ※電子書籍(EPUB)のため接続する通信端末や利用するアプリによりページ数の表示が異なるため記載を省略。</p>
<p>6. 『いまさら聞けないデジタル広告のトリセツ』</p>	<p>単著</p>	<p>2018年5月</p>	<p>翔泳社 MarkeZine Digital First</p>	<p>【概要】 本書は、企業のマーケティングや販促を担当している方を対象にしたビジネス書である。コミュニケーションの全体像とマーケティングリサーチ手法の違い、広告でのターゲティング、デジタル広告の活用方法、広告データ分析（広告効果測定・検証方法）、広告出稿後のPDCAの考え方など事例を用いて解説した入門書として出版した。</p> <p>【著者名】 著者：奥野辰広</p> <p>【総ページ数】 ※電子書籍(EPUB)のため接続する通信端末や利用するアプリによりページ数の表示が異なるため記載を省略。</p>
<p>(学術論文(欧文))</p>				
<p>1. なし</p>				
<p>(学術論文(和文))</p> <p>1. 『戦略的アウトソーシングにおける形成要因に関する研究-上場企業のアウトソーシング利用実態調査-』（査読付き）</p>	<p>単著</p>	<p>2021年3月</p>	<p>立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科 (学位請求論文、修士論文)</p>	<p>【概要】 アウトソーシングに関連する理論研究とアウトソーシングビジネスにおける全体像と課題を整理したうえで、実際にアウトソーシングを利用する上場企業の決裁者を対象にアンケート調査を実施した。アンケート調査の結果から上場企業におけるアウトソーシングの活用状況ならびに組織でのITの利用について検討を行った。上場企業の組織において、戦略的な視点を持ったアウトソーシングの活用が実行されているか形成要因と課題について明らかにした。修士号取得要件として、提出した論文となる。（査読有）</p> <p>【著者名】 著者：奥野辰広</p> <p>【総ページ数】 pp1-95.</p>

<p>(紀要論文)</p> <p>1. 『<資料> 中小企業におけるIT導入支援施策とアウトソーシング活用の現状と課題』(査読付き)</p>	<p>単著</p>	<p>2023年3月</p>	<p>昭和女子大学現代ビジネス研究所『現代ビジネス研究所紀要』,8巻</p>	<p>【概要】 本研究は、中小企業に焦点を絞り、中小企業のアウトソーシング活用と課題をテーマに「①中小企業のデジタル化の取組」、「②IT導入支援施策」、「③経営課題とアウトソーシングの活用」の3つの視点から横断的に文献整理を行いとデジタルシフトを推進するうえでの新たな考察を論じた。(査読有)</p> <p>【著者名】 著者：<u>奥野辰広</u></p> <p>【総ページ数】 pp1-14.</p>
<p>(辞書・翻訳書等)</p> <p>1. なし</p>				
<p>(報告書・会報等)</p> <p>1. なし</p>				
<p>(国際学会発表)</p> <p>1. なし</p>				
<p>(国内学会発表)</p> <p>1. 稼ぐ解析士だけが知るアドテク10訓 ～アドテクが私に伝えた「スキル&マインド」を徹底解説～(全国大会)</p>	<p>共同</p>	<p>2017年2月</p>	<p>ウェブ解析士協会ウェブ解析士会議Vol.4 (於：東京、機械振興会館)</p>	<p>【概要】 ウェブ解析士協会の全国大会において、共同発表を実施。ネット広告の集客方法、テクノロジーが変化する環境の中で、広告に関するテクノロジー領域の全体像を解説しながらウェブ解析士や企業のマーケティング担当者に必要とされる知識やスキル、マインドセットについてそれぞれ立場の異なる視点でこれからIT現場のビジネス実務で必要とされる人材像について討議した。</p> <p>【発表者】 発表：<u>奥野辰広</u>、平野考宏、中野学</p>
<p>(演奏会・展覧会等)</p> <p>1. なし</p>				
<p>(招待講演・基調講演)</p> <p>1. ネット広告運用の基本スキルと全体像(招待講演)</p>	<p>単独</p>	<p>2015年12月</p>	<p>ウェブ解析士協会SEMスペシャリスト委員会 (於：東京、ソフトバンクテクノロジーズ)</p>	<p>【概要】 ウェブ解析士協会のインターネット広告実務に関する分野を研究するワーキンググループ (SEMスペシャリスト委員会) からの招待により、協会員を対象にインターネット広告における実務に求められる基本スキルと広告コミュニケーション手法、広告効果測定指標、データ分析に関するテーマで講演を行った。</p>

2. ネット集客&アドテック活用基本講座・札幌(招待講演)	単独	2016年6月	ウェブ解析士協会北海道支部 (於:札幌、まなBiz)	【概要】 ウェブ解析士協会北海道支部からの招待により、北海道地方に所属する協会員を対象に広告実務に関する講演を実施した。最新のメディア動向、集客方法、広告効果測定指標、データ分析方法ならびに広告運用最適化の考え方、アドテクノロジーの活用など広告実務に関するテーマで講演を行った。
3. ネット集客&アドテック活用基本講座・福岡(招待講演)	単独	2016年9月	ウェブ解析士協会九州支部 (於:福岡、深見ビル)	【概要】 ウェブ解析士協会九州支部からの招待により、九州地方に所属する協会員を対象に広告実務に関する講演を実施した。最新のメディア動向、集客方法、広告効果測定指標、データ分析方法ならびに広告運用最適化の考え方、アドテクノロジーの活用など広告実務に関するテーマで講演を行った。
4. ネット集客&アドテック活用基本講座・広島(招待講演)	単独	2016年10月	ウェブ解析士協会中国・四国支部 (於:広島、電通西日本広島支社)	【概要】 ウェブ解析士協会中国・四国支部からの招待により、中国・四国地方に所属する協会員を対象に広告実務に関する講演を実施した。最新のメディア動向、集客方法、広告効果測定指標、データ分析方法ならびに広告運用最適化の考え方、アドテクノロジーの活用など広告実務に関するテーマで講演を行った。
5. ネット集客&アドテック活用基本講座・仙台(招待講演)	単独	2016年11月	ウェブ解析士協会東北支部 (於:仙台、TNP仙台支社)	【概要】 ウェブ解析士協会東北支部からの招待により、東北地方に所属する協会員を対象に広告実務に関する講演を実施した。最新のメディア動向、集客方法、広告効果測定指標、データ分析方法ならびに広告運用最適化の考え方、アドテクノロジーの活用など広告実務に関するテーマで講演を行った。
6. データを活用した広告プランニング入門～デジタルマーケティングへの展開～(招待講演)	単独	2019年7月	実践女子大学人間社会学部 (於:実践女子大学・渋谷キャンパス)	【概要】 実践女子大学人間社会学部所属の学部生約100名を対象に講演を実施した。実務家講師として招待されデジタルマーケティングの概要、デジタルデータの企業での活用方法、広告プランニング実務について講演を実施した。
(受賞(学術賞等))				
1. 平成16年度卒業生正課学修特別表彰(経営学部総代)	単独	2005年3月	札幌大学	札幌大学より学部成績優秀者として、正課学修特別表彰及び経営学部・総代を受賞。
2. WACAアワード 2015 Best Partner	単独	2016年2月	ウェブ解析士協会	ウェブ解析士協会が実施するウェブ解析士認定試験公式テキストの執筆協力を行い、ウェブ解析に広告の概念を加えることでその後のウェブ解析士の広告代理店での人材育成の展開をコンテンツ面で多大に貢献し受賞。
3. 2020年度修了者優秀論文賞(大学院ビジネスデザイン研究科)	単独	2021年3月	立教大学	立教大学大学院ビジネスデザイン研究科において、2020年度修了生の修士論文の中から優秀論文賞を受賞。

研 究 活 動 項 目						
助成を受けた研究等の名称	代表, 分担等の別	種 類	採択年度	交付・受入元	交付・受入額	概 要
(科学研究費採択) 1. なし						
(競争的研究助成費獲得(科研費除く)) 1. アウトソーシングの活用と企業のデジタル・シフト戦略	代表	現代ビジネス研究所研究助成金	2022年	昭和女子大学 現代ビジネス研究所	73,000円	【概要】 本研究では、中小企業に焦点を絞り、「中小企業のアウトソーシング活用と課題」をテーマに3つの内容について研究を行った。「①中小企業のデジタル化の取組」、「②IT導入支援施策」、「③経営課題とアウトソーシングの活用」について研究を行い先行研究の整理に加えて、新たな考察を加えて課題について検討を行った。
2. ニューノーマル時代の地域DXとビジネス支援の推進について	代表	現代ビジネス研究所研究助成金	2023年	昭和女子大学 現代ビジネス研究所	120,000円	【概要】 本研究の目的は、地域課題に対して、ITツールやデジタル技術を導入したり、自治体が提供する公共サービスを単にデジタル化するのではなく、より一歩踏み込んだ内容として、デジタル技術を活用して地域課題を解決し持続可能な社会を実現するための政府が推進する「デジタル田園都市構想」「スマートシティ構想」「地域DX推進ラボ」などに焦点を当て、調査分析を通じて地域DXやスマートシティなどの関係性について、現状と課題について検討を行う予定である。
(共同研究・受託研究受入れ) 1. なし						
(奨学・指定寄付金受入れ) 1. なし						
(学内課題研究(共同研究)) 1. なし						
(学内課題研究(各個研究)) 1. なし						
(知的財産(特許・実用新案等)) 1. なし						